

記入例

様式第1（第3条関係）（表面）

特定施設（**有害物質貯蔵指定施設**）設置（~~使用、変更~~）届出書

令和〇〇年〇月〇日

鹿児島市長 殿

届出者
 鹿児島市〇〇〇丁目〇〇番〇号
 株式会社〇〇〇
 代表取締役社長 〇〇 〇〇
 【TEL：099-111-1111】

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項~~（~~第6条第1項又は第2項、第7条~~）の規定により、特定施設（**有害物質貯蔵指定施設**）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		株式会社〇〇〇 〇〇工場 【TEL：099-123-4567】	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		(地番) 鹿児島市〇〇町〇〇番 (住居表示) 鹿児島市〇〇町〇〇-〇	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類	2 畜産食品製造業の用に供する施設 イ 原料処理施設 ハ 湯煮施設	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

コメントの追加 [a1]:

該当するもの以外は二重線で消してください。

コメントの追加 [a2]:

届出書の作成日ではなく“**提出日**”を記入してください。

コメントの追加 [a3]:

支店長や工場長を届出者とする場合は、法人の代表者からの**委任状**を添付してください。

コメントの追加 [a4]:

地番と住居表示がわかるように表記してください。

コメントの追加 [a5]:

水質汚濁防止法の特定施設の番号及び名称を記入してください。

コメントの追加 [a6]:

該当する方にチェックを入れてください。

コメントの追加 [a7]:

該当しない場合は斜線を引いてください。

記入例

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

記入例

別紙1

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	1-1, 1-2	2
特定施設番号及び名称	2-イ 原料処理施設	2-ハ 湯煮施設
型式	スライサー (株〇〇〇製 △△-□□型)	ボイル槽 (株〇〇〇製 △△-□□型)
構造	別紙カタログ参照	別紙カタログ参照
主要寸法	別紙カタログ参照	高さ〇〇mm×幅〇〇mm ×奥行き〇〇mm
能力	〇〇サイクル 〇〇～〇〇回/分	〇〇m ³
配置	別紙図面参照	別紙図面参照
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	平成〇〇年〇月〇日	平成〇〇年〇月〇日
工事完成予定年月日	平成〇〇年〇月〇日	平成〇〇年〇月〇日
使用開始予定年月日	平成〇〇年〇月〇日	平成〇〇年〇月〇日
その他参考となるべき事項	同一機種が2基	

コメントの追加 [a8]:
カタログや図面のコピー等を添付してください。資料がない場合は写真でも構いません。

コメントの追加 [a9]:
図面内に施設番号を記入するなどして工場内での特定施設の位置を明らかにしてください。

コメントの追加 [a10]:
使用の届出の時のみ記入してください。“設置”“変更”の届出の際には記入する必要はありません。

コメントの追加 [a11]:
特記事項等を記入してください。

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

記入例

別紙2

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	1-1, 1-2		2		
特定施設番号及び名称	2-イ 原料処理施設		2-ハ 湯煮施設		
設置場所	別紙図面参照		別紙図面参照		
操業の系統	別紙系統図参照		別紙系統図参照		
使用時間間隔	〇〇時間、〇〇時～〇〇時		〇〇時間、〇〇時～〇〇時		
1日当たりの使用時間	〇〇時間		〇〇時間		
使用の季節的変動	〇月増、なし など		夏季増、なし など		
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	豚肉：〇〇kg 鶏肉：〇〇kg 牛肉：〇〇kg		豚肉：〇〇kg 鶏肉：〇〇kg 牛肉：〇〇kg		
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
	BOD	〇〇mg/L	〇〇mg/L	〇〇mg/L	〇〇mg/L
	SS	〇〇mg/L	〇〇mg/L	〇〇mg/L	〇〇mg/L
	大腸菌群数	〇〇個/cm ³	〇〇個/cm ³	〇〇個/cm ³	〇〇個/cm ³
	油分	〇〇mg/L	〇〇mg/L	〇〇mg/L	〇〇mg/L
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	
	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	
その他参考となるべき事項	加工処理で発生した血液・内臓物は別途回収し産業廃棄物処理業者〇〇社で処分。		お湯は一度冷却し、固まった脂は別途回収し産業廃棄物処理業者〇〇社で処分。		

コメントの追加 [a12]:
別紙1と統一してください。

コメントの追加 [a13]:
業務内容の系統を示してください。
(例)原料入荷→カット→加工→ボイル→包装→冷凍→出荷

またどの段階でどの程度の給水や排水があるかを記入してください。

コメントの追加 [a14]:
特記事項を記入してください。

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

記入例

別紙3

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	3				4				
処理施設の設置場所	工場内（別紙図面参照）				屋外（別紙図面参照）				
設置年月日	年 月 日				年 月 日				
工事着手予定年月日	平成〇〇年〇月〇日				平成〇〇年〇月〇日				
工事完成予定年月日	平成〇〇年〇月〇日				平成〇〇年〇月〇日				
使用開始予定年月日	平成〇〇年〇月〇日				平成〇〇年〇月〇日				
種類及び型式	油水分離槽				排水処理施設				
構造	別紙図面のとおり				別紙図面のとおり				
主要寸法	別紙図面のとおり				別紙図面のとおり				
能力	〇〇m ³ /日				〇〇m ³ /日				
処理の方式	自然浮上分離方式				沈殿分離接触曝気方式				
処理の系統	流入→自然浮上分離				流入→沈殿分離→曝気→消毒				
集水及び導水の方法	工場内の排水溝にて集水				油水分離槽より自然流入				
使用時間間隔	不規則				常時				
1日当たりの使用時間	〇〇時間、〇〇時～〇〇時				24時間				
使用の季節変動	〇月増、なし				〇月増、なし				
消耗資材の1日当たりの用途別使用量					滅菌剤（製品名：〇〇）〇kg/月				
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
	BOD	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L
	SS	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L
大腸菌群数	〇個/cm ³	〇個/cm ³	〇個/cm ³	〇個/cm ³	〇個/cm ³	〇個/cm ³	〇個/cm ³	〇個/cm ³	
油分	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L	
量(m ³ /日)	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	油：〇〇kg/月 汚泥：〇〇kg/月 回収した廃油・汚泥は産業廃棄物処理業者〇〇社にて処理委託。				余剰汚泥：〇〇m ³ /月 引抜き・処理は産業廃棄物処理業者〇〇社に委託。				
排出水の排出方法	排水処理施設へ自然流入				雨水側溝へポンプアップ				
その他参考となるべき事項	油回収：1回/週 汚泥回収：1回/月				維持管理は株〇〇〇へ委託 (週1回定期点検)				

コメントの追加 [a15]:
使用の届出の時のみ記入してください。“設置”“変更”の届出の際には記入する必要はありません。

コメントの追加 [a16]:
契約書の写しを添付してください。

コメントの追加 [a17]:
点検や清掃頻度などを記入してください。

コメントの追加 [a18]:
維持管理者や点検頻度などを記入してください。
また、**契約書の写し**を添付してください。

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

記入例

別紙4

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		5			
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	〇〇	〇〇		
	BOD	〇〇mg/L	〇〇mg/L		
	SS	〇〇mg/L	〇〇mg/L		
	大腸菌群数	〇〇個/cm ³	〇〇個/cm ³		
	油分	〇〇mg/L	〇〇mg/L		
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		〇〇	〇〇		
その他参考となるべき事項		排水処理施設にて浄化された排水はポンプアップされ、合併浄化槽からの排水及び冷却水と敷地内で合流し敷地外（工場前の雨水側溝）へと排出され、最終的に〇〇川へ流入する。			

コメントの追加 [a19]:
合併浄化槽（トイレや事務所用）からの排水が排水処理施設からの排水に合流せず、それぞれ別経路で敷地境界に排出される場合は、個別に記入してください。

コメントの追加 [a20]:
排水量や取り扱う物質によって事業所毎に異なります。最低でも基準が適用される項目は記入してください。

コメントの追加 [a21]:
処理された水がどのように公共用水域へ排出されるのか記入してください。

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

記入例

別紙6

用水及び排水の系統

